

令和4年度 登別市下水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

本年度は、人口減少や節水意識の高まりにより、年間有収水量が引き続き減少したほか、物価上昇に伴う維持管理費の増加など、厳しい経営環境に置かれました。

こうした厳しい社会情勢の中、下水道事業経営戦略で示す安定的な下水道サービスを提供するためのコスト削減に取り組みながら、維持管理に資する施設整備事業を重点的に実施するなど、効率的な経営に努めました。

また、下水道事業の公共的使命を果たすため、汚水の安定的処理やこれによる公共水域の保全、浸水防除など、汚水管渠の改築更新や雨水管渠の新設などを着実に実施しました。

イ 業務状況

年間有収水量は、公共下水道事業で前年度に比べ55,155 m³減少の3,091,186 m³、個別排水処理施設事業で前年度に比べ274 m³減少の17,487 m³となりました。

ロ 建設改良事業

管渠建設費においては、中央町地区の雨水浸水対策として、雨水管渠新設工事を実施したほか、汚水管渠については、既設管のたるみが著しい箇所での改良工事などを行いました。

また、処理場建設費においては、ストックマネジメント計画に基づき、若山浄化センターの建築設備の改築更新を行いました。

ハ 施設の現状

本年度末における施設の現況は、次のとおりです。

- ・ 終末処理場 若山浄化センター
(施設構成) ポンプ棟、オキシデーションディッチ、最終沈澱池、塩素混和池、汚泥処理棟、送風機棟
- ・ ポンプ場 3か所 (若草ポンプ場、幌別ポンプ場、登別ポンプ場)
- ・ 管渠 汚水管 延長 263,859.83m
雨水管 延長 4,756.56m

ニ 財政状況

収益的収支 (税抜き)

収入は、営業収益7億796万9,553円 (うち使用料収入6億5,126万9,336円)、営業外収益9億5,313万7,593円、特別利益3,869,641円の合計16億6,497万6,787円となりました。

これに対し支出は、営業費用13億6,023万1,314円、営業外費用2億1,971万6,299円、特別損失2万9,099円の合計15億7,997万6,712円となり、収支差引による当期純利益は8,500万75円となりました。

資本的収支 (税込み)

収入は、企業債収入4億9,680万円、負担金及び分担金収入1,014万8,819円、補助金収入2億770万6,769円の合計7億1,465万5,588円となりました。

これに対し支出は、建設改良費2億2,546万9,999円、企業債償還金12億4,530万8,864円の合計14億7,077万8,863円となり、収支差引による不足額は、7億5,612万3,275円となりました。

この不足額につきましては、損益勘定留保資金などで補てんしました。